

平成 28 年度 事業報告書
 社会福祉法人ウエルハート厚生会
 特別養護老人ホームウエルハート明和

1、法人運営について

(1) 基本情報 (社会福祉法施行規則第 2 条の 4 第 1 号)

- ①法人名 社会福祉法人ウエルハート厚生会
- ②法人事務所所在地 三重県多気郡明和町大字志貴 1 3 3 4 番地
- ③法人電話番号 0 5 9 6 - 5 5 - 8 8 0 0

(2) 評議員の状況 (同規則第 2 号)

別紙「評議員名簿」のとおり

(3) 理事の状況 (同規則第 3 号)

別紙「役員名簿」のとおり

(4) 監事の状況 (同規則第 4 号)

別紙「役員名簿」のとおり

(5) 職員の状況 (同規則第 6 号)

職 種	平成 28 年 4 月 1 日現在	平成 29 年 4 月 1 日現在
施 設 長	1 名 (常勤・事務長兼務)	1 名 (常勤)
事 務 長	1 名 (常勤・施設長兼務)	1 名 (常勤)
介護支援専門員	1 名 (常勤)	3 名 (常勤)
生活相談員	(介護支援専門員が兼務)	(介護支援専門員が兼務)
看 護 職 員	3 名 (常勤)	5 名 (常勤)
機 能 訓 練 士	1 名 (常勤)	1 名 (常勤)
介 護 職 員	30 名 (常勤) 3 名 (非常勤)	41 名 (常勤) 2 名 (非常勤)
管 理 栄 養 士	1 名 (常勤)	1 名 (常勤)
事 務 員	3 名 (常勤)	2 名 (常勤)
宿 直 員	4 名 (非常勤)	4 名 (非常勤)
清 掃 員	4 名 (非常勤)	4 名 (非常勤)
合 計	常 勤 4 0 名 非常勤 1 1 名	常 勤 5 5 名 非常勤 1 0 名

※事務職員 1 名→生活相談員 1 名

(採用・退職等の状況)

日 付	採 用	退 職
平成 28 年 4 月	事務職員 2 名 (常勤)	
平成 28 年 8 月		事務職員 1 名 (常勤) 介護職員 1 名 (常勤) 宿直職員 1 名 (非常勤)
平成 28 年 9 月		介護職員 1 名 (非常勤)
平成 28 年 10 月	介護職員 1 名 (常勤) 宿直職員 1 名 (非常勤)	
平成 29 年 1 月	介護支援専門員 1 名 (常勤)	

平成 29 年 3 月	介護職員 11 名 (常勤)		看護職員 1 名 (常勤)
	看護職員 3 名 (常勤)		
合 計	常 勤 18 名		常 勤 3 名
	非常勤 1 名		非常勤 2 名

(6) 理事会の開催状況 (同規則第 8 号)

- ・第 1 回 平成 28 年 5 月 24 日 (金)
 - 出席者 理事総数 7 名中 7 名 (内書面出席 2 名) 監事 2 名
 - 議案 : (1) 平成 27 年度 事業報告 (案) について
 - (2) 平成 27 年度 決算報告 (案) について
 - (3) 地域密着型特別養護老人ホーム建設資金計画と借入金について
 - (4) 地域密着型特別養護老人ホーム借入金に関する担保物件について
 - (5) 地域密着型特別養護老人ホーム借入金に関する連帯保証人不要制度の利用について
 - (6) 地域密着型特別養護老人ホームの建設と設計・監理の入札について
 - (7) 定款施行細則 (案) の一部改正について
 - (8) 福祉サービスに関する苦情対応規程 (案) の改正について
 - (9) 重要事項説明書 (案) の改正について
 - (10) 事故発生防止指針等の策定について
 - 報告 : (1) 契約書の一部改正について
 - (2) 預り金の管理に関する契約書の一部改正について
 - (3) 消防計画の一部改正について
 - (4) 安全衛生懇談会指針の一部改正について

- ・第 2 回 平成 28 年 8 月 18 日 (木)
 - 出席者 理事総数 7 名中 6 名 (内書面出席 1 名) 監事 2 名
 - 議案 : (1) 地域密着型特別養護老人ホーム増築工事の入札結果について
 - (2) 地域密着型特別養護老人ホーム増築工事に係る借入金について
 - (3) 地域密着型特別養護老人ホーム増築工事に係る借入金に関する担保物件について
 - (4) 就業規則の一部変更について
 - 報告 : (1) 平成 29 年度より議決機関の評議員会設置について
 - (2) 神奈川県障害者施設殺人事件に関する厚労省からの通知について

- ・第 3 回 平成 29 年 1 月 16 日 (月)
 - 出席者 理事総数 7 名中 6 名 (内書面出席 2 名) 監事 1 名
 - 議案 : (1) 社会福祉法改正に伴う定款変更について
 - (2) 評議員選任・解任委員会運営細則について
 - (3) 地域密着型特別養護老人ホームの備品購入について
 - 報告 : 地域密着型特別養護老人ホーム入居者の募集について

- ・第 4 回 平成 29 年 3 月 27 日 (月)
 - 出席者 理事総数 7 名中 7 名 (内書面出席 1 名) 監事 2 名
 - 議案 : (1) 平成 28 年度補正予算について

- (2) 平成 29 年度事業計画について
- (3) 平成 29 年度予算について
- (4) 評議員選任・解任委員会委員の選任について
- (5) 評議員候補者の選任について
- (6) 役員の選任について
- (7) 理事長の選任について
- (8) 運営推進会議の設置について

(7) 内部経理監査

日 時：平成 28 年 5 月 15 日（日）

内 容：平成 27 年度における会計業務執行状況についての内部経理監査

(8) 監事監査（同規則第 9 号）

日 時：平成 28 年 5 月 17 日（火）

内 容：平成 27 年度決算及び事業報告についての監査

<監事監査における監査結果>

1. 資金収支計算書、貸借対照表、財産目録は、会計帳簿の記載金額と一致し、法人の収入及び財産の状況を正しく示していると認められる。
2. 事業報告の内容は真実であると認める。
3. 理事の職務執行に関する不正の行為は法令若しくは定款に違反する重大な事実はないと認める。
4. 軽微な指摘事項として業務監査で 1 件あり、また改善の機会として業務監査で 3 項目、会計監査で 2 項目あり下記のとおりである。

（業務監査）

<軽微な指摘事項>

1. 宿直業務について実施しているが、定められた労働基準監督署の許可を得ていなかった。そのため宿直勤務の許可について対応が必要である。

<改善の機会>

H 2 7 年度は課題であった職員離職率も低減され、ケア体制において安定が見られるようになってきている。また、労働基準監督署の指導による労務制度面での整備、施設内外での職員研修の充実、地域貢献のためのウェルハート大学事業の推進など人材育成及び地域密着への積極的な取組みが実施されている。現在は苦情件数も低く、概ね利用者満足度も高く維持され、評価できる事業運営となっている。ただし H 2 8 年度以降の事業を見据え、今後下記 3 点について配慮した運営が求められる。

1. H28 年度は地域密着型特別養護老人ホームの整備による施設内人員の増加が見込まれる。人数の増加によっても、入居者、職員、管理者を含め施設内の良好なコミュニケーションを維持し、離職率のさらなる改善、職員・利用者の満足度の向上にむけた組織体制の整備に配慮することが求められる。
2. 苦情件数が 3 件／年、労災発生件数が 0 件／年と現在は低く安定しているが、引き続き改善活動によるケアのレベルアップを図るため、事故対策や苦情処理において委員会組織の立ち上げによる体制整備に取り組むことが望まれる。
3. H 2 8 年度に社会福祉法人制度改革の実施が予定され、ガバナンスの強化にむけた組織変更、定款変更など新しい社会福祉法人制度への移行をスムーズに行うことに配慮するこ

とが求められる。

(会計監査)

<改善の機会>

H27年度においては、介護報酬の改定や職員の処遇改善、借入金の返済の開始など、厳しい資金繰りが予想されたが、介護保険事業収入を維持し、人件費、事業費、事務費のコストコントロールに取り組んだことで、返済原資を生み出し、比較的安定的な財政運営が実施できていると評価できる。ただし、H28年度以降の事業を見据え、今後下記2点について配慮した運営が求められる。

1. 資金面では H28年度から本格的な借入金返済が開始され、収益面においても利用者の入院等による空き室のべ日数の増加傾向にあるなど、H27年度以上の厳しさが予想される。また、地域密着型特別養護老人ホームの施設整備による大きな資金投資計画も進められており、引き続き一層の収益および資金コントロールを実施していくことが求められる。
2. H28年度に実施予定の特養整備計画における経理計上区分を、既存事業と明確に区分することに心掛け、計数的に収益コントロールが可能な会計制度を整備していく事が求められる。

(9) 社会福祉法人・施設指導監査

日 時：平成 28 年 9 月 1 日 (木)

内 容：平成 28 年度社会福祉法人・施設指導監査

<法人・施設指導監査における監査結果>

平成 28 年 9 月 1 日に貴法人に実施した指導監査の結果について、下記のとおり通知します。

なお、指導事項については、改善結果報告は必要ありませんが、当日係員が口頭で指導した事項と併せて、早急に改善して下さい。

記

(改善事項)

な し

(指導事項)

- 1 理事長の職務代理人（特別代理人）について、理事長個人と利益相反する行為となる事項及び双方代理となる事項がある場合は、理事会において、理事長の職務を代理する他の理事を選任すること。（定款第 10 条第 2 項）
- 2 小口現金について、貴法人経理規程では拠点ごとに限度額を定めているので、その範囲内で事務を行なうこと。（経理規程第 27 条第 3 項）
- 3 時間外労働・休日労働に関する勤務協定（いわゆる 36 協定）について、協定締結後、遅滞なく労働基準監督署へ届出を行なうこと。（労働基準法第 36 条）
- 4 妊産婦の労働時間制限について、請求があれば変形労働時間制の適用除外になる旨就業規則に明記すること。（労働基準法第 66 条第 1 項及び第 89 条）
- 5 賃金規定について、以下の点に留意すること。
(1) 初任給格付けや昇給基準等を分かりやすい形で法人の現状を鑑み整理すること。
(2) 賞与について、在籍期間に応じた支給にすること。
- 6 受水槽について、有効容量が 10 立方メートルを超える場合は、簡易専用水道設置

者として、指定検査登録機関による法定検査を年1回受けること。(水道法第34条の2第2項/同法施行令第2条/同法施行規則第56条)

7 個別のケース記録について、処遇計画に沿った内容の記録を残すこと。(三重県基準条例施行規則第6条第2号)

8 預り金について、預り金管理規程を定めること。

(10) 特定給食施設等の指導及び衛生監視

日時：平成29年2月22日(水)

内容：健康増進法に基づく特定給食施設等の指導及び食糧品衛生法に基づく衛生監視(三重県松阪保健所)

<指導・監視結果>

(給食施設指導)

- 1 給食運営に関する理念、方針、目標などを組織内で共有すること。
- 2 検食記録は、施設長等責任者が確認すること。
- 3 非常災害時の食事提供について、具体的な提供方法等を職員間で(受託業者も含む)検討する機会を持つことが望ましい。

(食品衛生監視)

- 1 調理場内にもものが多いので、整理整頓すること。
- 2 下処理室にもものが多い。手洗いを利用しやすいようにすること。
- 3 検食用の冷凍庫に関係のないものを入れない、詰め込みすぎないこと。
- 4 調理場の手洗いを使いやすくすること。
- 5 中心温度計の保管は衛生的に行なうこと。
- 6 食器を一時置きする場合は清潔な場所に置くこと。

(11) その他

平成28年5月27日	資産総額変更登記(資産総額288,559,404円)
平成28年6月26日	三重県に社会福祉法人ウエルハート厚生会 平成26年度監事監査報告書提出
平成28年6月26日	三重県に社会福祉法人ウエルハート厚生会 平成26年度事業報告書提出
平成28年6月26日	三重県に社会福祉法人ウエルハート厚生会 平成26年度現況報告書提出

2. 入居者の状況(同規則第11号)

表1 在籍者数及び退居者数・稼働率

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
在籍者計	60名	62名	61名	61名	61名	61名	62名	60名	60名	61名	65名	61名
稼働率	95.83%	91.83%	95.17%	95.22%	96.61%	95.17%	97.53%	98.39%	98.87%	99.35%	92.92%	92.53%
退居者数	0名	2名	1名	1名	1名	1名	2名	1名	0名	1名	5名	2名

・入院による年間の空室延べ日数は818日(平成26年度は552日 平成27年度は908日)

・年間平均稼働率は95.79%であった。(平成26年度は97.03% 平成27年度は95.46%)

・退居者(17名)の退去理由の内訳:死亡10名 医療機関4名 介護療養型医療施設2名 その他1名

※在籍者計は、各月末時点までに入居実績のある人数の計を記載しています。

表2 入居者の要介護状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要介護1			1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
要介護2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
要介護3	15	15	13	13	13	13	15	16	17	17	18	17
要介護4	23	23	23	22	23	23	23	21	17	19	19	19
要介護5	20	22	22	23	22	22	21	20	23	22	25	22
平均	4.02	4.05	4.03	4.05	4.03	4.03	3.98	3.95	3.98	3.97	4	3.97

・年間平均介護度は4.01となっている。(平成26年度は3.85 平成27年度は3.99)

3. 施設運営について（同規則第11号）

◎28年度事業計画の重点目標について

- ① 入居者様と職員、および職員同士の良好なコミュニケーションを築き、心にやさしい施設・職場を追求する。
 - ・入社時のオリエンテーションやホスピタリティー研修により、「おもいやり」や「心からのおもてなし」という接客態度を身につけ、入居者様はお客様かつ家族であるという気持ちを大切に、優しい言葉づかいや心遣いで接することへの醸成に努めた。
 - ・キャリアコンサルタントによる職員相談や、施設長をはじめとする幹部職員が、職員と同じ立ち位置で接することにより、垣根のない職員が働きやすい職場環境作りに努めた。

- ② 厚生労働省より要請されている『地域における公益的な取組』に賛同し、更なる活性化を図る。
 - ・平成25年度より明和町斎宮駅前にある明和町民つどいの場で『ウエルハート大学校』出前授業を実施しており、時事解説、歌謡、川柳発表、映画鑑賞等、引き続きその充実に心掛けた。（定員15名のところ好評につき受講メンバー18名）
 - ・本施設の『ウエルハート大学校』受講者については、地域の方々について定員30名のところ、囲碁学科27名、芸術学科27名、合わせて現在54名の方々が受講メンバーとなっただけ、地域における公益的な取組みを一定限度果たすことができた。

- ③ 職員の成長をいろいろな方向から応援し、良質なサービスにつなげていく
 - ・ウエルフェアアカデミーへの受講参加を促し、能力・介護技術の向上を図った。「ホスピタリティーの極意修得講座」「ストレスマネジメント研修」「介護技術研修」「BCP研修」・・・各テーマについて1日8時間で3日間の研修に参加
 - ・施設内勉強会の機会を積極的に提供し、毎月3回24テーマについて勉強会を行なった。
 - ・施設外研修について、管理者、看護師、栄養士、事務職員、介護職員と、多職種のものに参加を促し、能力の向上に努めた。
 - 「労務・安全管理研修会」「伊勢摂食嚥下プロジェクト研修会」「看護リーダー研修会」「多職種連携認知症ケア研修会」「三重県感染症対策支援ネットワーク研修会」等
 - ・介護職員初任者研修（内部職員無料）
ケアマネ受験対策講座（内部職員無料）
介護福祉士受験対策講座（内部職員無料）

- ④ 介護報酬改定によるマイナス財政問題への取り組みを強化する。
 - ・平成27年度まで休止状態であった短期入所生活介護事業を開始し、入院等で生じる空床による減収を埋めるように努めた。
 2. 入居者の状況の第3表のとおり、利用者数15名、利用延べ日数99日、実収入 1,212,085 円の収入増となった。

◎職員研修について

施設内勉強会の記録

日 付	議 題
平成 28 年 4 月 1 日	事故防止
平成 28 年 4 月 8 日	事故防止
平成 28 年 4 月 15 日	事故防止
平成 28 年 5 月 6 日	夜間救急搬送
平成 28 年 5 月 13 日	食事介助について
平成 28 年 5 月 20 日	友好的人間関係
平成 28 年 6 月 3 日	感染症対策
平成 28 年 6 月 10 日	食中毒と感染症
平成 28 年 6 月 17 日	食中毒と感染症
平成 28 年 7 月 1 日	体位変換とは
平成 28 年 7 月 8 日	介護保険制度について
平成 28 年 7 月 15 日	入浴介護の事故と対応
平成 28 年 8 月 5 日	褥瘡対策
平成 28 年 8 月 12 日	褥瘡対策
平成 28 年 8 月 19 日	褥瘡対策
平成 28 年 9 月 2 日	移乗について
平成 28 年 9 月 9 日	認知症について
平成 28 年 9 月 16 日	口腔ケアについて
平成 28 年 10 月 7 日	社会福祉法人制度の在り方について
平成 28 年 10 月 14 日	緊急時の対応
平成 28 年 10 月 21 日	社会福祉法人制度の在り方について
平成 28 年 11 月 4 日	腰痛予防
平成 28 年 11 月 11 日	社会福祉法人制度の在り方について
平成 28 年 11 月 18 日	認知症について
平成 28 年 12 月 2 日	感染症と嘔吐物処理
平成 28 年 12 月 9 日	嘔吐物の処理方法
平成 28 年 12 月 16 日	ノロウイルスの対応
平成 29 年 1 月 6 日	身体拘束とスピーチロックについて
平成 29 年 1 月 13 日	レクリエーションについて

日付	議題
平成 29 年 1 月 20 日	身体拘束について
平成 29 年 2 月 3 日	看取り
平成 29 年 2 月 10 日	身体拘束について
平成 29 年 2 月 17 日	皮膚の状態
平成 29 年 3 月 3 日	口腔ケアについて
平成 29 年 3 月 10 日	タッチセラピー
平成 29 年 3 月 17 日	看取りについて

計 36 回

施設外研修の参加記録

日付	研修名	主催者	参加者
平成 28 年 4 月 4 日	平成 28 年度新入社員研修会	株式会社百五経済研究所	事務主任
平成 28 年 6 月 16 日	平成 28 年度介護保険サービス事業者等集団指導	三重県健康福祉部福祉監査課 事業所監査班	施設長
平成 28 年 6 月 21 日	第三次産業における労務・安全管理研修会	松阪労働基準監督署	施設長 事務長 準備室室長
平成 28 年 6 月 23 日	甲種防火管理新規講習 1 日目	松阪地区広域消防組合	総務主任
平成 28 年 6 月 24 日	甲種防火管理新規講習 2 日目	松阪地区広域消防組合	総務主任
平成 28 年 9 月 10 日	キューピーセミナー第 3 回講演会・料理講習会	株式会社丸八ヒロタ三重営業所	管理栄養士
平成 28 年 10 月 16 日	伊食同源伊勢摂食嚥下プロジェクト第 4 回研修会	医療法人八重葉会 豊浜歯科医院	看護主任 管理栄養士
平成 28 年 10 月 18 日	甲種防火管理新規講習 1 日目	津市消防本部	施設長
平成 28 年 10 月 19 日	甲種防火管理新規講習 2 日目	津市消防本部	施設長
平成 28 年 10 月 29 日	看護師交流会Ⅱ看護リーダー研修会	医療法人社団良俊会ふくの若葉病院	看護主任
平成 28 年 11 月 25 日	多職種連携認知症ケア研修会	老人福祉施設明和苑	看護主任 介護職員
平成 28 年 12 月 13 日	終末期ケアセミナー	アスト津	介護支援専門員 看護主任 事務主任

日付	研修名	主催者	参加者
平成 28 年 12 月 16 日	三重県認知症介護基礎研修	三重県健康福祉部長寿介護課	介護職員 2 名
平成 29 年 1 月 29 日	平成 28 年度第 2 回三重県感染対策支援ネットワーク研修会	三重県、三重大学医学部附属病院	看護主任 看護職員

計 14 回

ウェルフェアアカデミー研修の記録

日付	研修名	研修内容
平成 28 年 6 月 7 日	ホスピタリティの極意習得講座 1	<ul style="list-style-type: none"> ・ホスピタリティとは何か ・介護スタッフの役割とは
平成 28 年 6 月 14 日	ホスピタリティの極意習得講座 2	<ul style="list-style-type: none"> ・ホスピタリティとは何か ・介護スタッフの役割とは
平成 28 年 6 月 21 日	ホスピタリティの極意習得講座 3	<ul style="list-style-type: none"> ・ホスピタリティとは何か ・介護スタッフの役割とは
平成 28 年 7 月 12 日	ストレスマネジメント研修 1	<ul style="list-style-type: none"> ・介護現場でのストレスについて ・ストレスの対処法
平成 28 年 7 月 19 日	ストレスマネジメント研修 2	<ul style="list-style-type: none"> ・介護現場でのストレスについて ・ストレスの対処法
平成 28 年 7 月 26 日	ストレスマネジメント研修 3	<ul style="list-style-type: none"> ・介護現場でのストレスについて ・ストレスの対処法
平成 28 年 8 月 8 日	介護技術研修 1 日目	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な介護技術の学習（コミュニケーション技術、排泄・食事介助技術等）
平成 28 年 8 月 9 日	介護技術研修 2 日目	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な介護技術の学習（コミュニケーション技術、排泄・食事介助技術等）
平成 28 年 8 月 10 日	介護技術研修 3 日目	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な介護技術の学習（コミュニケーション技術、排泄・食事介助技術等）
平成 28 年 9 月 7 日	BCP 研修 1	災害時に介護施設に求められる役割について
平成 28 年 9 月 14 日	BCP 研修 2	災害時の介護現場を想定して指示・命令系統を考えるグループワーク
平成 28 年 9 月 23 日	BCP 研修 3	各施設ごとで事業継続計画を作成するグループワーク

計 12 回

◎レクリエーションについて

日 付	レクリエーションタイトル
平成 28 年 4 月 8 日	花よりケーキ
平成 28 年 4 月 12 日	ネイルケア
平成 28 年 5 月 13 日	ランチにお寿司を食べに行こう！
平成 28 年 5 月 14 日	さくらの里 さつきまつり
平成 28 年 5 月 15 日	おやつレク
平成 28 年 5 月 20 日	コメダ珈琲に行こう
平成 28 年 5 月 22 日	マジックショー
平成 28 年 5 月 29 日	イオンでショッピングしておやつを食べよう！
平成 28 年 5 月 29 日	季節の花々と足湯に GO！
平成 28 年 5 月 29 日	ダンスパフォーマンス
平成 28 年 6 月 5 日	斎王まつり
平成 28 年 6 月 12 日	かいごのしごと体験ウェルヒーロー
平成 28 年 6 月 13 日	イオンでお買い物とおやつツアー
平成 28 年 6 月 27 日	大正琴コンサート
平成 28 年 6 月 28 日	てるてる坊主を作ろう
平成 28 年 7 月 3 日	七夕コンサート
平成 28 年 7 月 12 日	七夕おやつレク
平成 28 年 7 月 17 日	みいとフェスタ相撲大会
平成 28 年 7 月 17 日	室内流しそうめん
平成 28 年 8 月 28 日	ウェルハート明和夏祭り
平成 28 年 9 月 18 日	中村よしゑ様誕生会
平成 28 年 9 月 25 日	玉入れとおやつレク
平成 28 年 9 月 26 日	かつば寿司でランチ
平成 28 年 10 月 23 日	コメダへ行こう！
平成 28 年 11 月 3 日	かいごの仕事体験ウェルヒーロー
平成 28 年 11 月 13 日	チューリップの球根植え
平成 28 年 11 月 13 日	コメダでティータイム
平成 28 年 11 月 27 日	鍋パーティ
平成 28 年 12 月 13 日	クリスマスコンサート
平成 28 年 12 月 18 日	クリスマス会で笑って楽しもう！
平成 28 年 12 月 24 日	たこ焼きでクリスマスパーティ
平成 29 年 1 月 1 日	正月レク（おしるこ）
平成 29 年 1 月 4 日	正月レク（獅子舞）
平成 29 年 1 月 6 日	正月レク（凧揚げ）
平成 29 年 2 月 3 日	節分レク（玉入れで鬼退治）
平成 29 年 2 月 19 日	木村てる様誕生パーティ
平成 29 年 3 月 5 日	ひな祭り

計 37 回

◎非常災害対策について

消防訓練の実施

- ・平成 28 年 4 月 10 日（日）第 1 回火災防災訓練（消防署立ち会いあり）
大規模震災想定（震度 6・昼間）入居者 5 名 職員 21 名 志貴自治会 9 名
玄関前にて水消火器による消火訓練
- ・平成 28 年 12 月 20 日（木）第 2 回火災防災訓練（前田電設）
大規模震災想定（震度 6・夜間想定）職員 9 名
入居者の安否確認・2 回への階段による避難訓練・施設内消火栓作動訓練

◎施設内の保守管理について

定期点検、定期清掃の記録

厨房グリストラップ清掃	平成 28 年 6 月、9 月、平成 29 年 1 月
消防用設備点検	平成 28 年 4 月、平成 28 年 12 月
電気工作物点検	平成 28 年 6 月、28 年 8 月、28 年 10 月、28 年 12 月、 平成 29 年 2 月、29 年 3 月
エレベーター保守点検	平成 28 年 4 月、28 年 7 月、28 年 10 月
エレベーター法定点検	平成 29 年 2 月 14 日
浄化槽保守点検	平成 28 年 4 月～毎月
浄化槽清掃実施	平成 29 年 3 月 22 日（前回平成 29 年 3 月 31 日）
浄化槽法定検査	平成 28 年 4 月 21 日
飲料水貯水槽清掃	平成 28 年 4 月 4 日
飲料水水質検査	平成 28 年 4 月 4 日

◎職員の健康管理について

定期健康診断の実施

全従業員者対象	平成 28 年 4 月 18 日	（※週 20 時間未満の非常勤を除く）
夜勤従事者対象	平成 28 年 10 月 5 日	

◎給食について

平成 29 年 2 月に嗜好調査を実施（資料参照）

回答 52 無回答 1

結果概要としては「美味しい」との回答が 56% 普通を含めると 81%

意思表示を明確にできる方が少ないため無記入の項目が多かったが評価としては概ね良好であった。

4. 法人情報の公表等の状況（同規則第 13 号）

1 主たる事務所への備え置き

事業報告書(附属明細書含む)・貸借対照表及び収支計算書(附属明細書含む)
財産目録・定款・監事監査報告・役員名簿・事業計画書

2 インターネットホームページによる情報開示

定款・現況報告書・事業報告・貸借対照表・収支計算書・財産目録・監事監査報告

5. 社会福祉充実残額の算定根拠（同規則第14号）

別紙「社会福祉充実残額」のとおり

◎総括

28年度事業計画の重点目標として挙げさせていただいた ①心にやさしい施設・職場の追求 ②地域における公益的な取組 ③職員の成長への支援 ④介護報酬改定によるマイナス財政問題への取組 について、それぞれの目標の達成に近づけるよう努力していく中で、特に職員成長のための研修の機会提供を積極的に行ったことで、職員の今後の成長すなわち施設全体の成長、更に入居者様へのサービスの充実に繋がっていくであろうと期待している。

監事監査による指摘事項に関し、宿直勤務の許可については労働基準監督署の許可を得たこと、職員の離職率についてさらなる改善が達成できたこと、事故対策委員会及び苦情対応委員会を立ち上げ組織としての取組みが行えたこと、新しい社会福祉法人制度へのスムーズな移行が行えたこと等、各指摘事項について改善が図れた。また、会計関係についても空き室の延べ日数の増加に対しても、短期入所生活介護事業の開始により減収分の補てんが行えたこと、拠点区分及びサービス区分を明確にし、計数的に収益コントロール可能な会計制度の整備が行えた。

なお、県の法人・施設指導監査並びに松阪保健所による指導及び衛生監視による指摘事項についても、既に改善を行なったもの、或いは順次改善していくところである。

一方、収益管理に関しては、開設4年目を迎え、当初の入居者の方々の介護状態が重度化（一昨年度平均介護度 3.85 昨年度 3.99 今年度 4.01）していること、介護保険制度の改正により、特養入居者が原則、要介護度3以上の者に限定されたことでさらなる重度化が進行するとともに、それに伴う医療的ケアの必要度も増していること等により、入院による空室のべ日数が昨年に続き依然高い数字を示している（一昨年度 552 日 昨年度 908 日 今年度 818 日）。この空床により大きな減収を余儀なくされているところであるが、この点については、平成27年度まで休止状態にあった短期入所生活介護事業を開始することにより、若干ではあるが減収を補てんすることができた。しかしながら、この傾向はさらに進行することが想定され、医療・介護の両面において更なるマンパワーの増や高度な知識・技術の習得が求められることとなり、収益管理が今後、益々困難になることが予想される。

また、昨年度の理事会での『食』に関するアドバイスにつきましては、引き続き、管理栄養士と共に給食委員会を活用し、新メニューの導入や、お品書きのような視覚で楽しんでいただく季節食等、入居者の方々に喜んでもらえるよう努めた。

職員の離職に関しても、開設4年目ということで運営システムも安定軌道に乗り、一昨年度離職者 19 名、昨年度 11 名、今年度については 5 名までの削減となった。その中でも平成 28 年 9 月以降においては、地域密着型特養の開設に伴い採用した看護師 1 名のみの退職となっており、職員の定着の兆しが見られるところである。

このような改善にあたっては、理事・監事および施設運営に係る多くの方々の協力やアドバイスによって、より良い方向に向かわせて頂いていると深い感謝の念を感じる所であり、今後も、入居者様にとって心地よい環境をつくるため、我々法人の理念である「のんびり」「一緒に」「楽しみながら」を忘れず、皆で協力しながら一步一步進んでいければ幸いであると思う。